



巻 頭 言

理事長 鎌 田 文 恵

「今日の最高気温は 40℃。〇〇市では 41℃を超えて…」とのニュースを聞いていると、驚きと同時に「鉄の錆は鉄より生まれ、その鉄を蝕む」「身から出た錆」という言葉を思い出します。社会は常に利便性を追求し、高度成長期を経て、様々な技術や情報が発展し続ける一方、これまでには考えられない35℃から40℃を超えるような酷暑が当たり前となりました。この夏、各園においても暑さ対策のため、屋外遊びはもちろん禁止、屋内で一日中エアコンをまわし、保育や預かり保育を行う園も多くあったと思います。そのような中でも、社会ニーズに応え、子どもたちの健やかな成長と安全を第一に日々対応している教職員の皆様には心より敬意を申し上げる次第です。

8月に開催しました地区別設置者・園長会議に、お忙しいところご出席いただきました先生方に御礼申し上げます。主な協議としては、例年の経営実態調査報告と各委員会報告のほかに、以前から地区よりご意見をいただいております宮私幼理事改選に向けた理事選出方法の見直しなどについて、執行部で作成・提案し、ご意見をいただきました。その他の懇談ではどの園でも直面している少子化の中での園運営、困難を極める教職員の採用についてなど、いただいたご意見は執行部内でも共有し、検討し、行政機関への要望等に繋げていきたいと考えています。

予てよりお願いしていた宮城県議会の自由民主党・県民会議議員と宮私幼との意見交換会・勉強会を渡辺勝幸宮私幼PTA連合会会長にお声がけいただき、9月11日(木)に実施いたしました。近年の物価上昇や最低賃金引上げなど、社会情勢の変化に対応した、幼児教育・保育の無償化上限の基準見直しなど、全日本私立幼稚園連合会から国へ要望している内容を含めて、有意義な意見交換ができました。



一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-12 佐正第二ビル6F 編集・発行人 鎌田文恵



令和7年度 宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【令和7年度 第1回理事会】

日 時 令和7年5月7日(水) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1) 令和7年度第1回定時総会の議案書について

第1号議案：令和6年度事業報告について

第2号議案：令和6年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告・監査報告について

報告事項：①第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会＜宮城大会＞について

②感謝状・表彰状贈呈について

(2) 第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

報告事項

(1) 「令和6・7年度役員リスト」について

(2) 令和7年度全日私幼連永年勤続表彰者について

【令和7年度 第2回理事会】

日 時 令和7年6月18日(水) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1) 地区別設置者・園長会議について：8/19～22(仙台地区は8/1)

(2) 地区割(素案)について(地区別設置者・園長会議で検討)

(3) 次世代の情報交換会の開催について

報告事項

(1) 養成校との懇談会について(7/17 仙台ガーデンパレスにて)

(2) 令和7年度造形展について(11/22～25、せんだいメディアテークにて)

【令和7年度 第3回理事会】

日 時 令和7年7月10日(木) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1) 宮私幼理事選出方法の見直しについて(素案)

(2) 地区別設置者・園長会議について(8/1～22)

(3) 養成校へのチラシ配布について

報告事項

(1) 養成校との懇談会について(7/17)

(2) 東北地区教研大会若手大会について(10/10～11)

(3) 次世代の情報交換会並びに懇親会について(9/22)

その他

(1) 事務局休業：8/13～15

(2) 宮私幼教育振興大会：11/25

【令和7年度 第4回理事会】

日 時 令和7年8月28日(木) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

報告事項

(1) 地区別設置者・園長会議の結果について

議 事

(1) 自由民主党・県議会議員との意見交換会について

令和7年9月11日(木)15時30分～16時30分

宮城県議会棟4階 自由民主党・県議会議員会派控室

(2) 教育振興大会について

(3) その他

事務局だより

令和7年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

5/2～30 県新採研・中堅研(宮私幼連携協力)(県総合教育センター)(オンデマンド)

5/15 仙私幼総会(仙台市旭ヶ丘市民センター)

5/22 仙私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)

6/3 宮私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)

7/3 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

7/25 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

7/29 県新採研・中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/1 仙私幼設置者・園長会議(仙台市旭ヶ丘市民センター)

8/4 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/6 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/7 県次世代育成支援対策地域協議会及び県子ども・子育て会議(県行政庁舎)

○全日私幼連

5/8 団体会長会・理事会合同会議(アルカディア市ヶ谷)

5/28 定時総会(アルカディア市ヶ谷)

6/13 第32回東北地区私立幼稚園・認定こども園設置者・園長研修会＜山形大会＞(ホテルメトロポリタン山形)

6/14 第1回全日私幼連東北地区会(山形県私学会館)

7/16 第16回都道府県政策担当者会議

7/28 全日私幼PTA連合会総会

8/19～20 第16回 幼児教育実践学会(東京家政大学)

8/29 全日私幼連東北地区会教育研究担当者連絡協議会(山形県私学会館)

○宮私幼のあゆみ

4/4 新規採用教員研修会1(仙私幼共催)(東京エレクトロンホール宮城)

4/10 総務・給付委員会

4/21 経営委員会

4/24 研究委員会

4/30 常任理事会と総務・給付委員会合同会議、決算監査会

5/7 理事会、総務・給付委員会

5/16 研究委員会、幼稚園部会・認定こども園部会・保育部会合同会議

5/29 第1回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)

6/5 経営委員会

6/6 幼稚園部会・認定こども園部会・保育部会合同会議

6/12 総務・給付委員会、第1回地区割りの見直しに関する検討会議

6/18 理事会

6/19 研究委員会、第1回地区研修担当者連絡会、教育研究発表大会実践発表園打合せ会

7/8 幼稚園部会・認定こども園部会・保育部会合同会議

7/9 研究委員会

7/10 総務・給付委員会、理事会

7/17 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)

7/22 経営委員会

7/23 保育研修会1(仙私幼共催)(仙台市民会館)

7/24 保育研修会2(仙私幼共催)(仙台市民会館)

7/28 保育研修会3(仙私幼共催)(仙台市民会館)

7/30 主任リーダー研修会(仙私幼共催)[ハイブリッド方式](東京エレクトロンホール宮城)

8/1 仙台地区設置者・園長会議(仙台市：旭ヶ丘市民センター)

8/4 常任理事会

8/5 新規採用教員研修会2(仙私幼共催)[ハイブリッド方式](東京エレクトロンホール宮城)

8/7 総務・給付委員会

8/19 石巻地区設置者・園長会議(石巻市：ひばり幼稚園)

8/20 名取・岩沼地区&仙南地区(合同)設置者・園長会議(白石市：ひかり幼稚園)

8/21 気仙沼・登米地区&大崎地区(合同)設置者・園長会議(栗原市：エボカ21)

8/22 塩釜地区設置者・園長会議(塩釜市：中長)

8/28 理事会

8/29 幼稚園部会・認定こども園部会・保育部会合同会議

9/11 総務・給付委員会、自由民主党・県議会議員との意見交換会(宮城県議会棟)

9/18 研究委員会

9/22 次世代の情報交換会(東京エレクトロンホール宮城)

○慶 弔

2/15 渡辺すみ子氏(汐見台幼稚園 元園長)ご逝去

3/12 村山 十五氏(宮私幼第6代理事長・顧問、村山学園長・おとり学園長)ご逝去

5/25 北村かほる氏(法山寺幼稚園 元園長)ご逝去

令和7年度 宮私幼第1回総会

令和7年5月29日（木）東京エレクトロンホール宮城601会議室（出席85名・委任状提出64名）

総会に先立ち、ご逝去された汐見台幼稚園元園長渡辺すみ子先生、宮私幼第6代理事長・顧問 村山学園・おおとり学園学園長村山十五先生、法山寺幼稚園元園長北村かほる先生に哀悼の意を込めて黙祷を捧げました。

開会のことば（根来 興宣 副理事長）

「幼稚園賛歌」斉唱

指揮 庄子 真由美 先生（泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園園長）

理事長挨拶（鎌田文恵 理事長）

東北地区研修大会では、研修公開園・担当園、役員、宮私幼の事務職員は全員新しいメンバーでありますが、皆様のご尽力をいただき、心配した赤字にもならず無事終了することができました。本日はその結果も含めて前年度の足跡の審査をしていただきます。



感謝状贈呈・表彰状授与 《感謝状贈呈》理事13期 監事1期 岩切東光第二幼稚園・ひかり保育園理事長 吉岡弘宗先生、理事13期 監事1期 ドリーム幼稚園理事長 末屋保広先生、理事3期 第二たんぼ幼稚園園長 伊藤誠先生、《第38回東北地区教員研修大会 公開園感謝状》公開園9園、《令和6年度永年勤続表彰者》51人の先生方。



代表謝辞 《令和6年度永年勤続者表彰》多賀城高崎幼稚園 近藤優衣先生

来賓祝辞

〇宮城県総務部私学・公益法人課課長 佐野 浩章氏

昨今の事件から重要性が認識させられた安全管理の徹底のために、防犯・災害対策に要する経費の補助をご活用ください。`新・宮城の将来ビジョン、の4本柱の一つに `社会全体で支える宮城の子ども・子育て、を掲げています。引き続き幼児教育の無償化・教員確保と資質向上など幼児教育の充実に取り組み、必要情報を広く提供して参りたいと思います。また、4月から改正私立学校法が施行されておりますが、円滑な運営のご支援をさせていただきたいと思っております。今後ともご協力をお願い致します。



〇宮私幼PTA副会長・宮城県議会議員 渡辺勝幸氏

宮私幼PTAは宮私幼の先生方と幼児教育充実のための国や県の予算確保をはじめ、子どもたちに何ができるか？と政策形成を進めています。政策を作るためには近年エビデンス（客観的な根拠）が求められるが、幼児教育においても“幼児

教育を受けた子ども”“幼児教育の質が高い”“基礎学力より経験や関心を重視した幼児教育”はエビデンスが実証をしている。

今後も“子どもたちに何ができるか”、幼児教育の質の充実と大切さを訴えて参ります。



来 賓

〇宮城県子育て社会推進課 副参事兼総括課長補佐 小野寺 徹也 氏

県からのお知らせ

〇宮城県教育庁義務教育課主幹（指導主事）山口晋也氏

昨年度の教研大会第10分科会の“幼保小の架け橋プログラム研究協議”に参加をしました。今後も架け橋プログラムの可能性を探っていきたいと思います。幼児教育アドバイザー・幼児教育ポータルサイト、幼児教育に関わるアンケート等、幼稚園教育課程の講演、学ぶ土台づくり研修会をご活用ください。

議 事

議長として、多賀城東幼稚園・あずま保育園理事長 村上秀典先生、やかまし村園長 小島芳先生、議事録署名人として、めるへんの森幼稚園園長 伊勢千春先生、矢本はなぶさ幼稚園園長 山田元郎先生が選任されました。議事は議案に基づき進行され、第1号議案令和6年度事業報告、第2号議案令和6年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について活発に審議され、承認されました。



報告事項

第38回東北地区私立幼稚園・認定こども園教員研修大会〈宮城大会〉決算報告について

「花のおさなご」斉唱

指揮 庄子 真由美 先生（泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園園長）

閉会のことば（庄司 昭博 副理事長）



令和7年度 養成校との懇談会

日時 令和7年7月17日(木) 会場 仙台ガーデンパレス3階 「コンベンションホール」

参加者：養成校13校(13名)、宮私幼13名

挨拶：宮私幼 鎌田 文恵 理事長、庄司 昭博 副理事長

養成校代表：福島学院大学・短期大学部 柴田大輔 学生部長

議 題

1. 宮私幼の現況について

①総務・給付委員会 清野英俊 委員長

②研究委員会 佐藤 洋 委員長 (令和6年度『ようちえん』白書③参照)

2. 教育実習の打ち合わせ会から

東北生活文化大学短期大学部 高橋 恵美 准教授

今年度事務局として、5月に東京エレクトロンホール宮城において、教育実習の前年度の反省と今年度の計画及び実習を終えた学生の声について話し合いが行われ、その概要について資料に基づいて説明がありました。

3. 話し合い「今、学生にとってどのような支援が必要か」

(学生の就職動向・近況について)

- ・あくまでも年度によって違いはあるが、幼稚園への就職が少なく、こども園への就職が増加傾向にある。保育者を目指す学生が減って一般企業への就職が多い年度もある。
- ・県外から養成校に入学し、地元へ戻って就職するケースが

多い。また、関東に就職する学生が多いという情報を耳にするが、実際にはそれほど多くない。

- ・一般企業のみならず内定時期が早期化しており、ワークショップやこども食堂へのボランティアをきっかけに就職する学生が増えている。ボランティアにより自分が必要とされる機会が決め手になっているようである。
- ・首都圏の施設の動きが活発化しており、園見学に関して交通費や宿泊費、家賃の補助が充実していることにより、学生の就職に対する目的意識に注意喚起することも増えている。
- ・公務員のハードルが下がりつつある印象がある。
- ・幼稚園やこども園、保育所(園)の業務について、単独で担任をしなければならないことを負担に感じる学生が多い。(保護者対応を含めて)
- ・ピアノに対する苦手意識が大きく、幼い頃から習い事としてピアノを経験している学生も少ない。
- ・幼稚園への就職は、実習先に就職する学生が多いことから、園の「教育理念」「雰囲気」に共感していると思われる。

4. 閉会の挨拶 宮私幼 根来 興宣 副理事長

(経営委員会)

令和7年度 地区別設置者・園長会議について

1. 日程及び会場

①仙台・泉・黒川地区

8月1日(金) 仙台市：旭ヶ丘市民センター 71名

②石巻地区

8月19日(火) 石巻市：ひばり幼稚園 14名

③名取・岩沼&仙南地区(合同)

8月20日(水) 白石市：ひかり幼稚園 20名

④気仙沼・登米&大崎地区(合同)

8月21日(木) 栗原市：エポカ 21 16名

⑤塩釜地区

8月22日(金) 塩釜市：中長 20名

2. 会議の内容

今年度も上記の日程で、各地区で設置者・園長会議が行われました。内容としては、宮私幼理事選出方法の見直しの案が示され議論されたほか、研究・研修関係担当園の割り当てについては令和8年度までは従来のおりとするこ

とや、経営実態調査結果、令和8年度園児募集、養成校との懇談会などについて、各委員会から報告されました。

その後、設置者・園長の先生方と地区ごとの様々な課題や、園児数の減少への今後の対応、教職員の人員確保の面、新

制度園移行後の対応等、多くの園で共通する話し合いが行われました。今後の宮私幼での検討課題としては、次のようになりました。

3. 今後の検討内容

地区選出理事数の見直し案については、従来どおりの各地区から1名の理事を選出することが難しい地区もあるが、オンラインでの会議方式を検討してみてもどうかという意見などがありました。これらを踏まえ、8月28日(木)に開催された理事会に同会議の内容が報告され、今後会議をハイブリット方式で実施することとし、地区選出理事数は従来通りとすることになりました。

また、施設別部会長をこれまで別枠で選出としていましたが、これを廃止し、各委員会の委員長と同じ方式で選出する方法とすることについては、提案のとおりで問題がないことを確認しました。今後、理事会の議決を経て令和8年度からの実施となります。ただし、施設別部会の位置づけが不明瞭であるのご意見がありましたので、施設別部会の活動内容等も含め、ご理解いただけるように今後の検討課題とさせていただきます。

(経営委員会)

新園長紹介

学校法人聖ドミニコ学院
聖ドミニコ学院幼稚園
聖ドミニコ学院北仙台幼稚園

園長 佐々木 和



4月より、2園の幼稚園園長として勤務させていただくこととなり、元気で明るい子どもたちと過ごす日々、喜びと責任を感じながら保育に携わっております。

これまで、私立幼稚園にて33年間クラス担任・教頭として勤務し、その後は四年制大学にて幼稚園教諭・保育士養成の教育に7年間携わってまいりました。そして今、再び現場に戻り、園長として子どもたちの成長を見守る立場をいただいたことに、深いご縁と感謝の気持ちを抱いております。今までの経験を活かしながら、子どもたちの健やかな成長を支える保育を、2園の教職員と力を合わせて築いていきたいと考えております。また、園長として2園の先生方の素晴らしい保育を支えながら、時代の変化にも揺るがない幼児教育を常に意識し、聖ドミニコ学院幼稚園のくめざす子ども像である「キリスト教に基づいた宗教教育と毎日の生活を通して、正しい心、命を大切にする心、感謝する心、他者に対する思いやりなど、豊かな人間性を備えた社会人の育成」を目指して、保育に取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力のもと、共に子どもたちを育てる環境づくりに努めてまいります。

まだまだ未熟ではございますが、皆さまのお力添えをいただきながら、一步一步歩んでまいりたいと思っております。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

学校法人三宅学園
浄心幼稚園

園長 三宅 信子



今年度4月より、学校法人三宅学園浄心幼稚園園長に就任致しました。

今年は父である前理事長の三回忌にあたる年です。この年の4月に前園長から園長を引き継ぐということに、少なからず縁を感じました。

前理事長は子どもが大好きで、一生涯を幼児教育に捧げ、いつも子どもたちの幸せを願っておりました。遺偈では、「九十有年 有為転変 幼教一味 和顔愛語」という句を残しております。遺偈の通り前理事長は、住職として教育者として、和やかな顔と愛情溢れる言葉で人に接するということが一番大切だということを悟ったと言っております。

昨今の私たちを取り巻く環境は、色々な問題が複雑に絡み合い、穏やかに過ごすことが難しい時代になってまいりました。私たち教職員や子どもたち、また保護者の皆様や地域の皆様が、和やかな顔と愛情溢れる言葉で日々の生活を送り、社会全体で穏やかに過ごしていけるように、私も「和顔愛語」という言葉を大切にしていきたいと思っております。

まだまだ微力ではございますが、父の遺志を継いで頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

自由民主党・県議会議員と宮私幼との意見交換会

渡辺勝幸宮私幼PTA連合会会長・県議会議員に多忙の中、調整していただき、9月11日(木)に、同会派控室で実現することができました。

宮私幼PTA副会長で議員の伏谷修一氏の司会で、自由民主党・県議会議員の皆様と宮私幼役員10名、宮私幼PTA役員1名、宮城県私学・公益法人課職員3名と和やかに意見を交換いたしました。

最初に、宮私幼から鎌田文恵理事長、自由民主党・県議会議員から村上久仁事務局長にご挨拶をいただいた後、情報提供として資料に基づき、「(1) 宮私幼の概要について」と「(2) 幼児教育・保育の無償化費改定の国への要望について」を庄司昭博副理事長が説明をしました。

その後、庄子俊明理事・菊池正隆理事から、物価高騰にも関わらず無償化費が7年間据え置き、各園が抱える厳しい現状や、保育者不足により背に腹は変えられず職業紹介業者を利

用した際の利用料の高さ等について、具体的数字をあげて詳しく説明をしました。

議員の皆様からいくつか質問をいただきながら、現状についてさらに詳しく説明をした後、佐々木幸士議員(前宮私幼PTA会長・現顧問)より「保育者不足に対して県として解決策、例えば教員給与アップのための地域密着型の奨学金制度の提案等をしていきたい」とご意見をいただきました。

幼児教育施設に対する助成の仕組みについては、まだ十分に理解されていないと感じる場面もあり、本連合会の各園が抱えている諸問題について議員の皆様詳しく知っていただく良い機会になったことから、今後も継続して実施することが必要であると考えております。



幼稚園訪問記

幼な子とともに

幼保連携型認定こども園

岩切東光第二幼稚園・ひかり保育園

を訪問しました!!

令和7年8月1日(金)に幼保連携型認定こども園岩切東光第二幼稚園・ひかり保育園を訪問し、園長の吉岡弘宗先生より、自園にかける思いのみならず、今後の県内の保育体制・変化する社会情勢や子どもたちに対しての熱い思いをお聞かせいただきました。幼保認定こども園を経営するにあたり、幼稚園の良いスタイルを継承するとともに、社会ニーズにも対応し保護者に寄り添う姿勢も忘れない園でありたいという思いがひしひしと伝わってきました。仏教園ならではの「12の徳目」を大事にして生活の中心においている様子は、先生方の声かけや掲示物によく現れていました。



園長 吉岡弘宗先生

当日はひかり保育園の夏祭り開催日であり、園長先生が保護者や子どもたちと向き合う様子、子どもたちの五感を刺激する工夫がいっぱいのお祭りの環境もじっくり見せていただきました。若い保護者の方々が園児と共に子育てを楽しんでいる様子から、岩切地域とともにある園のカラーを強く感じました。

JR仙石東北ラインと新幹線、県道141号に囲まれたデルタ地域にある園庭と園舎からは、常に動く電車や車が見え、子どもたちにとっては楽しい刺激がたっぷりの環境でした。

特に力を入れている教育

仏教に基づき「報恩感謝」の念や思いやりの心が育つような保育を心がけています。子どもたちだけでなく教職員が思いを共有できるように、「12の徳目」の掲示は、工夫が凝らされています。

音楽、音に対する感性を磨く工夫として、年中児より鍵盤ハーモニカ、そして様々な種類の太鼓を準備しています。手作りのドラムセットや日本太鼓を用いて、園内でマーチング活動を行ってきた歴史があります。

認定こども園になって感じるこ

令和2年から幼保連携型認定こども園化。(ひかり保育園は平成17年、東光第二幼稚園は平成2年開園、その後、東光幼稚園は閉園)

バス利用の子どもたちが減り、預かり保育利用の子どもたちが増えてきました。いずれは送迎バスをやめることも視野に入れているそうです。こども園化する園が県内でも、ようやく増えてきてはいますが、教職員の研修スタイルなどがまだまだ課題であり、以前のように派遣することは難しいため、今後宮私幼としての検討が必要だと感じているとのこと。

幼保連携型認定こども園

岩切東光第二幼稚園・ひかり保育園

〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字高江 45

園児数 158名(11クラス) 教職員 44名

(0歳児6名、1歳児14名、2歳児24名、3歳児39名、4歳児34名、5歳児41名)

また、幼稚園部と保育園部の先生方の給与体系を共通にできないところも、課題の一つです。

保育時間

幼稚園部 1号: 8時30分~14時

幼稚園部 2号: 7時15分~18時15分 (延長~19時15分)

保育園部 3号: 7時15分~18時15分 (延長~19時15分)

給食

全員給食 材料費が高騰する中で、様々な工夫をしながら対応しています。



バス送迎

2台で運行しています。最近は乗る園児が減ってきています。

教育目標

「元気で明るく素直な子ども」

誓いのことば

元気で明るいよい子ども
悪いことは すぐよします
生きものは かわいがります
友だちは 仲良くいたします
道具は 大切にいたします
一日にひとつ 良いことをいたします



岩切地域に昔からある幼稚園として、地域との結び付きを大事にしており、常に地域の方々との対話の機会を作っているそうです。卒園生にフィギュアスケート本郷理華選手があり園内に写真やメッセージが掲示してありました。

「誰でも通園制度」については、疑問視しているとのこと。「お母さんたちの子育て能力が上がるような制度」でしょうか？

